

# 一般質問通告表

平成30年第1回始良市議会定例会（2月27日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 神村 次郎	1. 新庁舎建設について	<p>(1) 合併協定項目で、加治木庁舎に教育部、蒲生庁舎に農業委員会（農政部）を置くというのは、行政執行上の重要な約束ごとである。今回の庁舎整備では、本庁舎に集約（変更）する方向となっているが、このような重要な施策を行政だけで決めることにはならないと考える。議会に諮るべきではないか。それが二元代表制をとる民主主義のあり方ではないか。見解を問う。</p> <p>(2) 本庁舎の事業費が60億円とのことだが、将来の財政運営からも全体事業費が不明ななかで、本庁舎建設が先行すべきではない。全体事業費がはっきりしないなかで、60億円が果たして適正な事業費かわからない状況での事業推進が妥当か問う。</p> <p>(3) 答申を受けて、あとどのような手続きを経て事業を推進するのか問う。</p> <p>(4) 基本設計の発注、実施設計の発注時期、工事の発注時期はいつか問う。</p>	市長 教育委員長
	2. 学校給食の自校方式について	<p>学校給食については、これまで平成25年9月議会で「自校方式による給食調理場の存続を求める請願」が採択され、また、平成26年3月に「学校給食のあり方」について検討・報告された。</p> <p>「食は命の源・食あってこそその命」といわれる。しかし、食をめぐる現状は生活時間の多様化、栄養の偏りや食習慣の乱れ等、危機的な状況にある。</p> <p>「教育の一環」としての食育は、知・徳・体の学校教育を支える基礎である。学校給食をコストの対象とするのではなく、調理室から聞こえてくる音や匂いで聴覚・臭覚が刺激され調理現場が実感で</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 原子力防災について</p>	<p>きる、これからの学校給食の自校方式について問う。</p> <p>(1) 始良地区残り8校分をまとめた給食センターではなく、小規模の学校給食センターの設置について検討できないか問う。</p> <p>(2) 平成29年3月議会の文教厚生常任委員会の委員長報告では、議員間討議で論点として「学校給食センターの今後」として討論された。学校給食センターの建設を今後検討する際は、災害時や事故の際のこと及び食育のことも踏まえ、小規模の学校給食センターの設置を検討されたいとの合意を得た。このことについての見解を問う。</p> <p>今年も2月3日に川内原発の重大事故に備えた原子力防災訓練があった。東北大地震での福島原発事故から7年経った今でも多くの方が避難生活をしている。市民の安心のためにも常に苛酷事故を想定しておくべきである。</p> <p>以下について問う。</p> <p>(1) 福島原発災害でもあったように、30キロ圏を越えて放射性物質の拡散が想定される。始良市民の避難計画がぜひ必要と考えるが、見解を問う。</p> <p>(2) 九州電力と原子力防災に関する協定を締結している立地自治体と同等の安全協定を締結すべきだが、市として検討したことがあるか問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p>
<p>2. 法 元 隆 男</p>	<p>1. 生ごみを堆肥にするダンボールコンポストの普及について</p>	<p>(1) ごみ減量化の一環として、家庭菜園などで使用する堆肥作りに有効なダンボールコンポストが注目されているが、どのように考えるか。</p> <p>(2) ある町おこし団体が説明会を開催</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 文化財等の整備について	<p>した。現在、試行錯誤の面も見受けられるが、これが有効に機能すれば、生ごみ減量や有機肥料作りに大きな成果が期待できると考える。市として、ダンボールコンポストの普及に取り組む考えはないか。</p> <p>(1) 曾木家の門の屋根の改修についての見通しはどうか。</p> <p>(2) 金山橋のビューポイントの整備について、以前の答弁では西側からのアプローチを検討するとのことであったが、その後の状況と見通しを問う。</p> <p>(3) 帖佐の義弘公居館跡（帖佐稻荷神社）の説明板は老朽化しており、改修するべきであると思うがどうか。</p> <p>(4) 黒川岬は、西岸の方に展望公園が平成30年度から整備される予定になっている。東岸についての整備はどのように考えているか。</p>	市 長 教育委員長
3. 犬伏 浩幸	1. 子育てについて	<p>平成25年4月に制定された「始良市子育て基本条例」は、未来を担う子どもの育成に関して、社会全体で子育てを進めていくための取組について、基本理念を定め、家庭、学校、地域社会、事業者及び市の役割と責任を明らかにするとともに、子育てに関する市の施策その他基本的事項を定めることにより、自立する子どもの育成に寄与することを目的としている。</p> <p>この条例に沿い、具体的な計画等を定め、始良市の宝である子ども達の自立へ向けた取組を行っている認識している。</p> <p>以下、取組について現状を示せ。 また、課題と解決策を問う。</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 政策立案について	<p>(1) 家庭教育について  (2) 道徳教育について  (3) 食育について  (4) 学力向上について  (5) キャリア教育について  (6) 情報教育について</p> <p>これまで、ICT利活用や官民データ活用推進について一般質問で議論してきた。国においては、限られた予算・資源のもと、各種の統計等を正確に分析して効果的な政策を選択していく、証拠に基づく政策立案（EBPM）を推進していると認識している。</p> <p>本市の見解と今後の取組について問う。</p>	市 長
4. 小山田邦弘	1. 孤独対策について	<p>(1) 孤独問題への認識について  少子高齢化社会が進む中で、孤独死や災害時の独居者の孤立、いじめにつながるような子どもたちの学校での孤立など、孤独問題は大きな社会問題のひとつとなっている。</p> <p>単身者世帯数の推移や自治会未加入者の推移、学校でのいじめの発生状況などを踏まえ、本市における孤独問題の現状認識を示せ。</p> <p>(2) 孤独問題への対策について  現在、各課で実施されている施策においても孤独を未然に回避させたり、孤独を解消したりするようなものがあると思われる。具体的な成果のあるものを示せ。</p> <p>(3) 孤独問題の課題について  本市は人口微増という喜ばしい状況の中で、中山間の人口減、都市部の人口増が顕著で、孤独問題にもその特徴</p>	市 長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>が現れていると想定される。物理的に孤独をうみやすい中山間と、心理的な孤独をうみやすい都市部の双方に目配りが必要だが、それぞれに今後の課題を示せ。</p>	

